



まいぶんセンター 出前考古学教室のご案内

「出前考古学教室」とは？

学校や公民館などの電話による依頼で、埋蔵文化財センター職員を講師として派遣する無料の考古学教室です。

教室では、埋蔵文化財センターが保管する土器や石器のミニ展示、体験用具を利用した古代体験などを行っています。古代の土器や石器などにふれ、昔のワザを体感することで、ふるさとの歴史をより身近に感じることができます。

教室の内容

「縄文人の暮らしにふれる」と題したテーマの体験（裏面に内容解説）では、歴史授業の導入のみならず、自然とともに生活していた縄文人の知恵を学び、古代体験を通して縄文人のワザにふれることにより、総合的な学習効果も期待できる内容となっています。

なお、令和2、3年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、一部メニューを変更して実施しています。従来の内容については、ホームページでご覧になることができます。

対 象 小学校、中学校、高等学校、公民館等

経 費 無料（職員の旅費や材料費などはセンターが負担します）

申 込 受付は令和4年3月14日（月）午前9時から行います。

電話又はご来館の上、お申し込みください。

受 付 平日 午前9時～午後5時

備 考 集中する時期もあり、ご要望にお応えできない場合もありますので、お早めにご連絡ください。

新型コロナウイルス感染症の状況によっては、一部の体験メニューを変更ないし中止する場合があります。また、検温、マスクの着用、手指の消毒等感染防止対策についてご協力をお願いします。

学校などの教育機関を対象に縄文土器や石器など考古学教材の貸し出しを行っています。詳しくは下記までお問い合わせください。

お申し込み・お問い合わせは

石川県埋蔵文化財センター 普及啓発担当

〒920-1336 金沢市中戸町 18 番地 1

電話 076-229-4477

「いしかわ埋文」
で検索！！






出前考古学教室の一例（令和2、3年度）

テーマ体験「縄文人の暮らしにふれる」

所要時間：90分～100分

自然と共生した縄文人の生活が、具体的に体感できる内容になっています（時間は相談により変更可能）。
新型コロナウイルス感染症対策のため、従来の内容を変更しています。

	指導内容	学習内容	時間	体験風景
一時限	講義 ガイダンス	縄文時代のあらしを知る 出土品を前に、縄文土器と木の実の関係や、石器の機能と石材の関係を学びます。	35分	
	体験①	石器の切れ味を試す 黒曜石の復元石器で紙を切り、石器の切れ味の鋭さを実感します。 ※黒曜石の体験を待っている間に、縄文土器や石器などを近くで見ます。	10分	 
二時限	体験②	まが玉をつくる 穿孔済の石材にまが玉の外形を写し取り、砥石で削ります。麻布で磨いて仕上げます。	40分 ～ 50分	 
	まとめ	体験内容を振り返り、ポイントを確認します。	5分	

出前考古学教室の一例

テーマ体験「縄文人の暮らしにふれる」

所要時間：90分～100分

自然と共生した縄文人の生活が、具体的に体感できる内容になっています（時間は相談により変更可能）。

	内容	時間	体験風景
導入	講義 縄文時代のあらしを知る	25分	
	ガイダンス 出土品を前に、縄文土器と木の実の関係や、石器の機能と石材の関係を学びます。	30分	
展開	体験① 貫頭衣を着る 縄文人の生きたイメージを膨らませ、親しみを持ってもらいます。 (令和2、3年度は中止)	5分	
	体験② 石器の切れ味を試す 黒曜石の復元石器で紙を切り、石器の切れ味の鋭さを実感します。	10分	
	体験③ クルミ割り試食 木の実が食材になることを確認し、自然と共生していた縄文人を理解します。 (令和2、3年度は中止)	20分	
	体験④ もみぎりで火おこし 摩擦熱を利用した縄文人の知恵とワザにふれます。 (令和2、3年度はまが玉づくりに変更)	25分 30分	
まとめ	体験内容を振り返り、ポイントを確認します。	5分	